



## 存在動詞 van

ハンガリー語の動詞は、語尾が主語の人称と数によって、6通りに変化します。変化しない部分を語幹、人称と数を表わす部分を人称接尾辞と呼びます。多くの動詞は、3人称単数形が語幹の形と一致します。辞書には、3人称単数形が見出し語として掲載されています。

### 存在動詞 van の活用

「～がある、～がいる」という存在の意味を表わす動詞 *van* は、次のように不規則変化をします。3人称に男性形と女性形の区別はありません。

		人称代名詞	存在動詞
単数	1人称	én 私	vagyok
	2人称	te 君	vagy
	3人称	ő あの人	van
複数	1人称	mi 私たち	vagyunk
	2人称	ti 君たち	vagytok
	3人称	ők あの人たち	vannak

### 存在文

「私はここに(i tt )います」「君はここにいます」という表現は、それぞれ次のようになります。主語となる人称代名詞は、強調するときをのぞいて、ふつう省略します。主語が誰であるかは、動詞の活用語尾をみればわかるからです。

単数	1人称(én)	I tt vagyok. 私はここにいます.
	2人称(te)	I tt vagy. 君はここにいます.
	3人称(ő)	I tt van. 彼はここにいます.
複数	1人称(mi)	I tt vagyunk. 私たちはここにいます.
	2人称(ti)	I tt vagytok. 君たちはここにいます.
	3人称(ők)	I tt vannak. 彼らはここにいます.

## 否定文

否定文は、否定する要素の前に否定詞 nem をおいてつくります。「ない、いない」と存在を否定する場合は、存在動詞のまえに否定詞 nem をおきます。ott 「そこに」は後ろに移動します。ただし、van の否定は nincs , vannak の否定は nincsenek となります。

单数	1人称	Nem vagyok ott. 私はそこにいません。
	2人称	Nem vagy ott. 君はそこにいません。
	3人称	Nincs ott. 彼はそこにいません。
複数	1人称	Nem vagyunk ott. 私たちはそこにいません。
	2人称	Nem vagytok ott. 君たちはそこにいません。
	3人称	Nincsenek ott. 彼らはそこにいません。

## 「AはBである」

「AはBである」という文は、AとBをならべてつくります。このとき、AとBを結びつける動詞(英語の be 動詞に相当するもの)は必要ありません。

Péter diák. ペーテルは学生です。

主語が3人称の代名詞のときも、動詞は必要ありません。

(ő )diák. (彼は)学生です。

ただし、主語が1人称と2人称の代名詞のときは、存在動詞 van の活用形を使います。主語の代名詞はふつう省略します。

Diák vagyok. 私は学生です。  
Diák vagy. 君は学生です。

「AはBでない」という否定文は、Bの前に否定詞 nem をおいてつくります。

Péter nem tanár. ペーテルは先生ではありません。

存在動詞がある場合は、その前に nem をおきます。語順に注意しましょう。

Nem vagyok tanár. 私は先生ではありません。

「ペーテルは学生です」のように、diák が具体的な個別のものをさしているのではなく、「学生」という概念を表わしているようなとき、冠詞はつきません。